

ふるさと 資料紹介

=⑦⑩=

せきを別に作ったため、争いになりました。最終的には幕府の裁定により、伊深村の新しいせきは取り壊され、以後はせきを作ることを禁じられました。上の写真の絵図は、そのときの裁定に使われた図面です。

次の人から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございます。ございました。(平成九年三月分)

○俵編み機など 二点

(木戸隆弘さん／本郷町)

○牛用鞍くまなど 二点

(横田保彦さん／川辺町)

○てんびん棒など 五点

(美濃輪つるえさん／本郷町)

○お膳ぜん一式など 二点

(林和子さん／田島町)

○ひな人形 一式

(伊藤清さん／川合町)

○養蚕用具ようさんなど 二点

(兼倉総さん／山之上町)

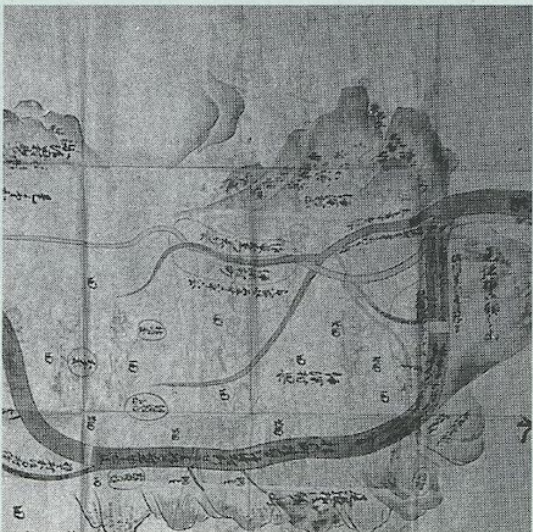
○江戸時代の古文書 十点

(日比野昇八さん／中富町)

○養蚕用具など 二点

(大野道男さん／山之上町)

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内) ■内四〇八)まで情報をお寄せください。



史料と地名からみた 地区の歴史25

伊深(三)

江戸時代の初め、寛文年間、伊深村と羽生村(現富加町)との間に水争いがおきました。

両村は川浦川(現在の牛牧地区)にせきを造り、取水していました。しかし伊深村が新しい